

# 令和5年度子ども議会本会議

開催日 令和6年(2024年) 1月15(月)	会議時間	開会 午前 10時00分 閉会 午前 11時20分
会議場所 役場庁舎3F 町民ホール(議場)	記録者 こども未来課こども未来 係長 谷井 彩乃	
出席者：片山町長、山本副町長、片岡教育長、総務課長、防災専門官、町民生活課長、税務課長、都市建設課長、上下水道課長、国営農地再編推進室長、農政課長、農政課参事、商工観光課長、企画環境課長、企画環境課参事、学校教育課長兼町民学習課長、こども未来課長、給食センター長		
広報：青木主事		
教委：学校教育課 馬淵係長、CS 青山		
傍聴：13名		

## 議会内容

### <開会行事>

#### 1. ニセコ町議会議長あいさつ(青羽議長)

冬休み中にも関わらず、子ども議会が開催されるということでご大変苦勞様です。

みんなが知ってる通り、パウダースノー求めてたくさんの外国人・環境客、そして夏はおいしい野菜がたくさん取れる観光と農業のまちです。

みんなが学校に通ってる中で、町に対してこんなものがあればいいな、こうしたらもっと楽しく暮らせるのにと思っていること、そういう人がたくさんいると思います。

今日は、緊張すると言われても難しいと思いますが、大きい声を出すと緊張が少しほぐるので、自分の言葉で大きな声でゆっくりと一般質問をしてください。答弁者の町長も本物の議員と変わらず真面目に答弁をしようので期待をしてください。この機会を通して、ニセコ町の職員はどんな仕事をしているのか、議会ってどんなとなのか少しでも関心をもってもらえたら嬉しいです。今日はみなさん、頑張ってください。

#### 2. 子ども議会議長・副議長・議員の紹介

議長：ニセコ小学校5年 パートンジャック龍斗

ニセコ小学校6年 浅川 寧音

副議長：ニセコ小学校6年 西泉 ひかる

〃：ニセコ小学校6年 佐々木 虹

議員：ニセコ小学校6年 高橋 優実

近藤小学校6年 高橋 快生

ニセコ小学校6年 渋谷 輝來

ニセコ小学校6年 中谷 太一

ニセコ小学校6年 大道 詩乃

ニセコ小学校6年 マッケイ 瑠生(欠席)

ニセコ中学校2年 三谷 央空星

ニセコ高校1年 中村 瀧

### 3. 町への提案事項について

#### (1) ニセコ小学校6年 浅川 寧音 「プールの清掃の強化」

浅川議員：私は、プールの水中の掃除ができる機械を導入してほしいです。落ち葉や虫が浮いているし、近藤にいる友達から聞いた話では、プールで泳いでいると、水中に人の排泄物があったそうです。

町民プールは、たくさんの人が使う公共施設なので、使う人が気持ちよく使えるようにプールの水中を掃除できる機械を導入してほしいです。

町民学習課長：プールへのご意見・ご提案ありがとうございます。

はじめに、プールを使用した時に浅川議員も友達も嫌な思いをしたのではないかと思います。その点についてお詫びしたいと思います。改めて、利用する人に対し、プールへ入る前にはシャワーを浴びて汚れを落とすことや、きちんとトイレを済ませて利用することなど、マナー向上を呼び掛けていきます。

さて、浅川議員ご提案のプールを掃除する機械は効果的だと私たちも思っており、本当はすぐにでも購入したいのですが、その機械はとても高額で1台100万円以上もするものです。そこで、倶知安町のプールにはこの機械があるので借りてきて試してみたり、実際に他で使っているところから話を聞いたりしながら、役場の中で検討をしていきたいと考えています。

なお、現在のプールは老朽化していますが、水をきれいに保つためにろ過装置という機械でゴミを取り除いたり、雑菌で感染症にならないよう塩素という薬品を入れたりして、決められた水質基準を下回ることがないように管理しています。ですから、これからも安心して使ってください。また、落ち葉などゴミが入っていたり、何か気になることがあったりしたら、プールにいるスタッフや総合体育館の職員に教えて欲しいと思います。古い施設ではありますが、みんなが気持ちよく安心してプールを使っていただけのように管理していきますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

バートン議長：再質問はあるか

浅川議員：あります。そのプールのろ過機はずっとまわしているものなのですか？プールを開けている時間ずっとつかっているものなのか教えてください。

町民学習課長：再質問に答えます。ろ過器の機械ですが、いろんな種類があります。今私たちが考えているのは、自動でプールの中を泳ぎながらゴミをとっていくものです。ルンバ（掃除機）と同じような機械を考えています。それ以外にも、人が掃除機のようなもので吸っていく機械があるので、使い勝手も含めていろんな機械があるので検討していきたいと思います。

教育長：ろ過機が常時起動しているかについてですが、水をきれいにするために常時動いています。昨年故障したが、全部取り換えたので、安心して利用してもらいたいと思います。

バートン議長：再質問はあるか

浅川議員：とくになし

(2) ニセコ小学校6年 西泉 ひかる 「ニセコ町ゴミ拾い大会の開催について」

西泉議員：ニセコ町の地区に分かれて町民運動会のようにみんなでゴミ拾いをしたらいいと思います。終わったら一番ゴミを集めることができた地区で競って1、2位を決めたら楽しいと思います。

終わったら、子どもにお菓子を配ったら楽しんでやってくれると思います。最後にそれぞれの地区で打ち上げをしたらとても楽しいと思います。

スタート地点、ゴール地点はニセコ小学校がいいと思います。私はこう考えますが、いかがでしょうか。

町民生活課長：西泉議員のご質問にお答えします。

現在ニセコ町では年2回、5月と10月に全町一斉クリーン作戦として、市街地周辺や各スキー場、昆布温泉周辺で各町内会、各団体の皆さんの協力で清掃活動を行っています。また、『町内ぐるみの美化清掃月間』として5月1日から31日、10月1日から31日に各町内会などで自主的に清掃活動をしてもらっています。

議員質問のゴミ拾い大会ですが大変面白いアイデアだと思います。ただ、拾ったゴミが多いということは、普段から落ちているゴミが多いということなので、いつも清掃活動している地区が上位になれないので、集めたゴミの量だけで順位をつけるのは難しいですし、また、大会の日程も平日だと日中仕事や学校に行っている人は参加しづらいですし、休日でも用事があったり、少年団や部活などで参加できないとか、皆さんが参加できる日程を決めたりするのはちょっと難しいかなと思います。

なので年2回の全町一斉のクリーン作戦や美化清掃月間、またそれ以外でも自分の住んでいる地区をいつもきれいに保つよう地区や学校での清掃活動には積極的に参加していただければと思います。

バートン議長：再質問はあるか

西泉議員：とくになし

(3) ニセコ小学校6年 高橋 優実 「ちびっこ広場の遊具の増加」

高橋(優)議員：増加をしてほしい理由は、子どもから大人まで多くの利用者がいるからです。さらに利用者を増やしてみんなから愛される公園にしていくために、例えばクライミングやタイヤとびなど新たな遊具を増加する必要があると考えます

都市建設課長：高橋議員のご質問にお答えします。

ちびっこ広場については、令和元年に現地の調査やアンケート調査を行い基本計画を策定しております。その時に遊水池の設置を含めて公園全体の計画を立てました。先に、壊れた噴水を撤去して、遊水池を作ったあとに、遊具の設置などの再整備を考えていたのですが、公園で使う水が足りないことが分かり、計画が止まってしまっている状況です。

皆さまにはご不便をおかけしておりますが、何卒ご理解下さいますよう宜しくお願い致します。

バートン議長：再質問はあるか

高橋(優)議員：とくになし

町長：議長が変わる前に3点だけ補足します。議員の質問で最初プールの質問。片岡教育長が小学校時代に使っていたものを今も使っています。7年くらい前に冬も使える通年型プールがいいねとなって調査をしていたが、地熱などの再生可能エネルギーを見つけられてから着手したいねとなって現在保留となっています。地球環境に影響のないいいエネルギーが見つけれたら再整備していきたいと思います。

町民運動会のようなゴミ拾い大会について、とてもいい質問をもらいました。何かをやって順位付けたりはしていないが、とても面白い提案だと思います。みんなで相談して、面白くできる仕組みがあれば検討したいと思います。

ちびっこ広場の遊具、橋本課長から回答した通り水を使う施設を計画していて将来やろうと思っています。水がふんだんに使えるようになれば、やっていきたいが、当面は、遠くの方で子どもたちを応援したいと言って「ふるさと納税」という大きなお金でニセコ町を応援してくれる人がいるので、その方と相談しながらもし間に合えば来年遊具を整備していきたいと思います。

(バートン議長から浅川議長へ交代)

#### (4) ニセコ小学校6年 佐々木 虹 「給食の多様化」

佐々木議員： すごくいい給食を作っていただいているのですが、アレルギーに対応した給食や、様々な理由で食事制限がある子どもも、食べられる給食の提供をしてほしいです。理由は、様々な国籍を有する子どもたちも増えたため、多様性を推進していくためには必要なことだと考えているためです。

給食センター長： 学校給食センターの三橋です。佐々木議員の質問にお答えします。

まず最初に、いつも給食を美味しく食べていただき、ありがとうございます。

ニセコ町の給食は、とても美味しいと良い評判をいただいております。

毎日、学校の皆さんが食べている給食は、皆さんがご存じの栄養教諭の森 紫折先生が、栄養が偏らないように栄養計算を行い、給食のメニューを考えています。

また、給食センターの調理員さんたちは、毎日550人分の給食を朝早くから一生懸命調理してくれています。

このほかにも、ニセコ町で採れた美味しいお米や野菜などを給食の食材に取り入れて調理をしております、農家をはじめとする町内の人たちも、皆さんに美味しい給食を届けられるよう、頑張っております。

佐々木議員の質問にありますとおり、子どもたちのなかには、食べ物のアレルギーがあったり、出身の国の宗教上の理由で食べることができない食材があるなど、食べることができないメニューがあることで、せっかくの楽しい給食時間を満足に送ることができないことは、たいへん残念なことだと考えています。

佐々木議員のご提案のとおり、多様性を推進するため、子どもたち一人ひとりに対応した給食を作ることがたいへん望ましいのですが、ニセコ町の給食センターは、調理場のスペースがとても狭く、アレルギーなどがある子どもたちに対応した給食を作るための場所が確保できません。

そのため、食べることができない食材があるときは、自分で取り除いていただいたり、自宅から代わりのお弁当を持ってきていただくようお願いしています。

将来的には、アレルギーなどがある子どもたちに対応した給食を作ることができるよう考えていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

浅川議長：再質問はあるか

佐々木議員：とくになし

(5) ニセコ小学校5年 バートンジャック龍斗 「芝のサッカー場」

バートン議員：ニセコ町には遊ぶ場所やすごくいい運動場や野球場がありますが、芝のサッカー場が無くて残念です。いつも土でサッカーの練習をしていて転んだら擦り傷になってしまったりするので、芝のサッカー場を作ってほしいです

町民学習課長：ご質問ありがとうございます。

日々、一生懸命スポーツに取り組んでいる、バートン議員は素晴らしいと思います。

ご提案いただいた芝のサッカー場ですが、過去にも同じような提案を子ども議員のみなさんから受け、教育員会でも芝のグラウンドを町内に作れないか検討を行ってききましたが、現在のところ実現に至っておりません。

その理由の一つは、ニセコ町は丘陵地で山坂が多いため、まとまった平地が少なく、特に、市街地の地区で広い土地の確保が難しいといった課題があります。それから、グラウンドを建設する工事費や、完成後の芝生をよい状態で維持していく費用の確保など財政面の課題もあります。

そのような状況ですので、すぐに芝のサッカー場を整備することは難しいのですが、今ある施設を有効利用していく視点で考えてみてはどうでしょうか。

例えば、運動公園の多目的グラウンドや、もし野球場が空いている日であれば、野球場外野の芝の部分を使用する方法もあると思います。

教育委員会としては、子どもから大人まで気軽にスポーツや健康づくりができるスポーツ施設の整備について、引き続き検討をしていきたいと考えておりますので、これからも意見をどんどん出してください。よろしくお願いします。

浅川議長：再質問はあるか

バートン議員：とくになし

(6) 近藤小学校6年 高橋 快生 「近藤小学校の靴箱」

高橋（快）議員：学校に行くときに冬はよく長靴をはくのですが、その長靴を入れる靴箱が小さくて長靴が入りにくいので大きくしてほしいです。

学校教育課長：高橋議員、靴箱で困っている状況について教えていただき、ありがとうございます。

質問を聞き、改めて近藤小学校へ行って、靴箱を確認してきました。そして、(大人用ですが)私の長靴を入れてみたところ、靴箱の高さ自体は大丈夫でしたが、上履きを入れるための中の棚板があるために長靴が奥まで入らず、長靴が靴箱の外に少し出っ張ってしまうような状況でした。高橋議員の長靴も同じような状況ではないかと思えます。

靴箱を大きなサイズに作り替えることができればいいのかもかもしれませんが、靴箱は玄関の限られたスペースに児童全員分を設置しなければなりません。一人あたりのスペースを大きくすると、靴箱の数が減ってしまいます。近藤小学校の児童数は現在52人ですが、この先も40人台で推移すると想定されていて、靴箱に余裕がある状況ではありません。このことから、今の靴箱を大きく改造することは難しいと考えています。

高橋議員は気付いているかもしれませんが、近藤小学校の靴箱には3つの種類がありま

す。一つは校舎を建設した当時からあった靴箱、もう一つは児童が増えたことで増設した靴箱、そして高橋議員が使っている靴箱は元々は先生やお客さんのための靴箱を改造した靴箱の3種類です。それぞれ、靴箱の高さや作りが少しずつ違っていますので、もしかすると靴箱の場所を変えてみることで解決するかもしれません。また、どうしても入らない場合は、玄関にブルーシートを敷いて、そこへ置く方法もあると思います。靴箱の使い方は、先生方も含め学校全体で考える必要がありますので、冬休みが明けたら高橋議員から先生方に相談をしてみてください。私からも近藤小の先生方をお願いをしておきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

浅川議長：再質問はあるか

高橋（快）議員：とくになし

教育長： 学校関連について貴重な意見をもらいました。アレルギー食について、国際色豊かで多様な方がニセコ町には来ているので、ますますそういった対応が必要になってきていると思います。特に、アレルギー食については敏感な反応をする方がいるので、アレルギー食を作るためには厳密に施設設備を確認して作らなければならないのですが、給食センターも建設してから10数年経っています。ニセコ町の子供たちも増えてきて、給食も550色を超える給食を作っている中で、給食センターそのものが変えられるような時期に設備等検討していきたいと思います。切実な問題ありがとうございます。

芝のサッカー場について、私もぜひ欲しいなと思ってよその芝生を見ると本当にいいなと思います。

ニセコの子どもたちにもそういうところで運動してほしいと思っていますが、回答にもあったとおり今すぐ作る場所がなく、作った後の管理を考えると、今ある芝生のところを使って頑張ってもらいたいと思います。今年は、サッカー少年団と野球少年団が札幌の大学へバスで行っています。時期が悪く芝生はなかったが、そういうところでも対応している実績があるので、今後も続けていきたいと思っています。

靴箱について、実際に課長が学校へ行って先生方と具体的に相談してきました。冬場の一時的なものなので、使い方の工夫で対応してもらえたらと思います。

みんな身近な課題について提案してもらい、町としても十分検討していきたいと思っています。ありがとうございます。

（10分間の休憩、浅川議長から西泉副議長へ交代）

（7）ニセコ小学校6年 渋谷 輝来 「横断歩道の設置」

渋谷議員：ニセコ町民センターの付近に横断歩道があるといいと思いました。なぜかというと、学校から町民センターまでの道で、横断歩道を渡らずに向こう側に行く人が多いと思ったからです。横断歩道までいかない人は、基本左右を見て渡る人が大半ですが、急いでいるときは見ない人もいます。このままだと事故も多発してしまうと考えました。なので、横断歩道の設置を提案します。

町民生活課長： 渋谷議員のご質問にお答えします。

昨年の子ども議会でも町民センター前の横断歩道の設置についての質問がありまし

た。横断歩道の設置は倶知安警察署へ要望をして公安委員会というところが決定をします。

そこで倶知安警察署へ新たに町民センター前に横断歩道の設置ができないか相談をしたところ、設置ルールとして、次の横断歩道までの距離が100m以上と決められており、今ある矢橋さん前横断歩道と町民センターと体育館の間にある横断歩道の距離が200mないので、その間に新しく設置することは難しいとの回答をもらっていますが、ニセコ町としては必要と思っていますので引き続き、設置に向け相談をしていきたいと思います。

また、今は横断歩道がないので、役場では看板など設置をして横断する人に注意をしてもらうようにしていこうと思いますのでよろしくお願いします。

西泉副議長：再質問はあるか

渋谷議員：とくになし

(8) ニセコ小学校6年 中谷 太一 「冬でも遊べる施設」

中谷議員：私たちは冬になると、公園が閉鎖されるので、遊ぶところが少なくなるからです。施設があれば、みんなが集まり、ニセコ町民が盛り上がると思うからです。その中にダンスやスケボーをする施設、お祭りができる施設を作ると町全体が明るくなると思うからです。

こども未来課長：中谷議員のご質問にお答えします。

私たちも、中谷議員がおっしゃるような、冬でも室内でいつでもみんなが集まれる施設があるとすごくいいと考えています。そのような、放課後に子どもが安全に安心して、遊んだりする場所があるということはとても大切なことです。しかし、それには課題もたくさんあります。新しく建物を建てるには、建物を建てるためや、それを維持したり、安全に使えるように見守る人に居てもらうためのお金がたくさん必要なのと、学校やおうちの近くでみんなが通いやすい場所に作らなければならないということを見ると、場所もとても限られてきます。ですので、例えば町民センターや総合体育館などは、だれでも使うことができますし、そこでは体を動かしたりイベントも行うこともできます。このような今ある施設を有効に活用するなど、知恵を絞りながら、いい方法を検討していければと思います。

その取り組みの一つとしてですが、ニセコ駅前の中央倉庫群の1号倉庫内では、子どもたちが冬でも室内でおもいきり遊べるように、ちょうど今度の日曜日の1/21から、2/18まで日曜日と祝日限定ではありますが、ニセコ駅前の中央倉庫群の1号倉庫内にトランポリンや、エア遊具など設置して、ニセコキッズパークという臨時的な室内公園を作っていますので、ぜひ遊びに行ってみてください。今後、期間を延長するなど、もっと冬の屋内の遊び場を充実していきたいとも考えていますので、これからも様々な場面でどんどん意見を出してください。とても素晴らしい提案ありがとうございました。

西泉副議長：再質問はあるか

中谷議員：とくになし

(9) ニセコ小学校6年 大道 詩乃 「本通の人も使える会館が欲し」

大道議員：W i - F i のある会館を作ってほしいです。なぜなら、体育館は習い事があつたら使えないし、町民センターは静かにしないと迷惑がかかるからです。

お泊りのできるスペースがあり、本通の人も使えるような会館が欲しいです。

こども未来課長：大道議員のご質問にお答えします。

先ほど、中谷議員のご質問にもありましたとおり、子どもが安全に安心して、遊んだり、勉強をしたり、集まれる居場所があるということはとても大切なことだと考えています。また、そこに子どもだけではなく色々な人が使える場所というのは大変すばらしい提案だと思います。

小学生のみなさんが学校で過ごす時間と、それ以外の放課後に過ごす時間では、放課後の時間の方が多いと言われてしています。例えば、ここに座っている役場のみなさんは、かつて放課後に、友だちと遊んだり、家の手伝いをしたりする中で、笑ったり、痛い経験をしたり、喜んだり、悔しい思いをしたりして、善悪の判断や他の人に対する思いやり、社会のマナーなどを学んできました。みなさんも、いま、同じような経験をしているのではないかと考えていますが、こうした経験を積み重ねていくことは、これから大人になっていく中でとても大切で、必要なことだと考えていて、そしてそのような経験ができる”居場所”があることはとても大切なことだと考えています。

現在、放課後に子どもたちが集える居場所として、例えば勉強や宿題をするのであれば「あそぶっく」、体を動かして遊ぶのであれば、例えば週に2回町民センターや体育館を活用した「放課後子ども教室」があります。また、町民センターや体育館は、町民なら誰でも使える施設ですが、予約状況を聞いたりすることで、もっと有効に活用できるのではと思います。このほかにも、この役場庁舎の3階は、誰でも宿題やお仕事ができ、羊蹄山を望む景色が抜群で、もちろんW i f i もフリーで使えますので、ぜひまた足を運んでみてください。とても素晴らしい提案ありがとうございました。

西泉議長：再質問はあるか

大道議員：とくになし

副町長：追加で回答します。3人についても、勇気をもってたくさんの提案をしてもらってありがとうございます。

横断歩道については担当課長からも回答があつたとおり、横断歩道の願いは続けていきますが、現実的に100mを超えてる範囲の中でもう1つつけるのが難しいという回答を実際にもらっていることから、横断歩道の設置は時間がかかるだろうと思います。それまでの間、そこを通らなければならない事情もあると思うから、その間どのように安全に渡るのかもみなさんと考えていきたいと思っています。

2つめ、冬でも遊べる施設ということで、切実なお話だろうと思います。ダンスということであれば町民センターや体育館も使えるが、スケボーとなると施設に限られてくるので中央倉庫の地面がコンクリートの施設を使うなど、集団で保護者も含めて使い始めてみるという取り組みをしていくとこの先使い方の幅が広がっていくと思います。

本通りの人も使える会館について、「お泊りのできるスペース」というのが難しいなと思



ったが、それを抜きにすると、今現状で町民センター、静かにしなければならぬのであれば、みんなで使ったら怒られたのか、少し騒ぐのは回りが静かだからと気を使ったのか、どういう事情なのかあとで話を聞きたいが、町民センターや体育間は既存で使える施設なので使ってもらいたいと思います。役場の3階も使えます。ただ、仕事をしている人が多いので騒ぐのは難しいと思うが、宿題をするにはいいスペースだと思います。これからもどんどん町に対するアイデアや提案をもらえたらと思います。ありがとうございます。

(西泉副議長から佐々木副議長へ交代)

(10) ニセコ中学校2年生 三谷 央空星 「イベントとホテル」

三谷議員：現在、ニセコ町には他の地域から観光客を呼べるようなイベントがありません。そのため、市街には観光客があまりいません。さらに市街には、観光客が安く泊まれるような宿泊施設がないので、不便だと思います。そこで提案するのは、他の地域の人々が来なくなるようなイベントを夏などに開催し、そのお客さんが安く泊まれるようなホテルを建設し、町の方にも観光客が集まるようにしたいです。

商工観光課長：三谷さんの質問にお答えします。

市街地に観光客があまりいないのでイベントを増やして、安く泊まれる宿泊施設を建設して市街地にも観光客が来るようにしては？という質問ですね。

現在、町外の方たちも参加できる市街地で行われる大きなイベントは8月の七夕の花火大会、9月のマラソンフェスティバル、10月のニセコハロウィンなどがあります。これらのイベントには観光客も含め、たくさんの方たちの参加をいただき盛大に開催されています。

それぞれのイベントは主催する実行委員会などが行っていて、町はその開催を応援しています。

町では、イベント開催で観光客の方々に来ていただくのも重要なものと考えていますが、一方で何度もニセコ町に来ていただける観光客を増やすことも重要と考えています。そこで地域の観光資源に魅力を感じてもらえるように体験型観光やグルメ情報の提供、レンタサイクルやフットパスなどの普及など継続的・持続的な取り組みを行っています。イベントが少ないというご意見ですが三谷さんもこんなイベントを開催してはどうかという意見がありましたら是非教えてください。

次に、市街地に観光客が安く泊まれる宿泊施設についてですが、宿泊施設の建設は、役場が建てて運営するのは難しいので、民間事業者にやってもらうことになりますが、市街地での建設を希望している事業者もいらっしゃいますが土地の確保ができないなどの理由が課題となっているようです。今後も町とし事業者の相談に乗るなど対応を考えていきます。

一方で、観光協会や町ではリゾート地に来ていただいている観光客の皆さんの交通手段として、夏期間にスカイバスの運行、冬期間にニセコ周遊バスの運行やタクシーの増車の対策を行っています。また、ほかにも商工会では、町内の飲食店をPRするデジタルグルメマップを作製し町外の方々にも気軽に飲食店を利用してもらえるようにと考えています。

観光客が市街地に来て、にぎわうことは良いことですが、ニセコ町の良さは、自然や景観、街並みなどですので、一方で来すぎて良さを失ってしまう部分もありますので、そのバランスを大切にしながら今後の対応も考えていきたいと考えています。

質問ありがとうございました。

佐々木副議長：再質問はあるか

三谷議員：とくになし

(11) ニセコ高校1年生 中村 瀧 「学校へのエアコンの設置」

中村議員：今年の日本の夏は全体的に暑く、ニセコも例外ではありませんでした。そのせいで高校も暑さの被害を受け、学校が休みになってしまったり、4時間授業など日程が変わってしまったりしていました。

そして私たちも暑さで授業に集中できなくなったりしていました。

そしてこの案は、私だけではなく私のクラスで出てきた意見でもあります。なので私は小学校・中学校、高校にエアコンの設置をお願いします。

学校教育課長：中村議員の質問にお答えいたします。エアコンの設置を、高校だけではなく、小学校や中学校にも設置して欲しいという提案で、下級生への思いやりが感じられる内容でした。ありがとうございます。

夏の記録的な猛暑で中村議員も授業に集中できなくなったとのことですが、昨夏の暑さは学習意欲がなくなってしまうだけではなく、熱中症など命の危険も伴うものだったと考えています。今年以降もこうした暑さが続いていく可能性があると言われていたことから、学校へのエアコン設置は迅速に対応すべき課題と認識しているところです。

そこで、教育委員会では、できるだけ早く（可能であれば今年の夏前までに）学校へのエアコンの設置ができないか、既に検討を進めてきています。今も調査検討を継続している段階ですので、まだ結論は出ていませんが、エアコン設置に向けてはさまざまな課題があることがわかってきました。例えば、町内の小中高校の建物は、建設時にはそもそもエアコンを設置することを前提としていませんでした。ですから、すべての教室にエアコンを設置すると電気が不足してしまいます。また、北海道内全体で学校にエアコンを付けたいという希望がある状況ですので、エアコンの品不足や工事をする人の人手不足といった問題も出てきています。教育委員会でも、こうした課題を何とか解決してエアコンを設置できないか引き続き検討を進めていきますので、ご理解のほどよろしくをお願いします。

なお、エアコン設置以外の暑さ対策として、暑さが落ち着く時期まで学校の夏休みを延長することもあわせて検討しています。また、夏休み中や休日、放課後に勉強をしたいけれど家は暑いといった場合には、この役場3Fのフリースペースや町民センター、あそぶっくなど冷房が入っている公共施設を活用することをお勧めします。

ご質問ありがとうございました。

佐々木副議長：再質問はあるか

中村議員：とくになし

町長： 実は数年前にビュープラという道の駅の近くにビジネスホテルを作りたいと来た業者がいたが、土地の確保が難しく今保留状態になっています。ニセコは景観も大事にしているので色んなことが整ったらホテルも建設されたらいいなと思います。ニセコ町は「持続可能性」を大切にしている、イベントもできるだけ長続きできるような、それが地域の価値になるような文化的なイベントだとか歴史遺産に関するものであるとか、できれば増やしていきたいと思います。

学校のエアコンについては現在調査をしているところです。応援してもらえたらありがたいです。質問ありがとうございました。

#### 4. 閉会行事

##### (1) 教育長講評（片岡教育長）

今日参加してくれた子ども議会の皆様、冬休みの忙しい中参加してもらいありがとうございます。

傍聴に来ていただいた保護者、先生方はじめたくさんの方々もありがとうございます。

ニセコ町子ども議会はなぜずっと続けてきているか、やはり大人の議員の方々が国でも予算等検討しているように、小さいうちからみんなが体験することがとても大切だと思います。色んな人がいて色んな要求があります。全部できればいいが、色んな要求があって優先順位をつけてやっているということをも十分理解してもらって、今日はそれを模擬的に体験してもらえたと思います。今まで子ども議会で出た意見について、町として実施した事例もたくさんありますし、学校と相談して、できるようになったこともあります。しかし、予算等の事情で実現とならないこともあるし、継続的に検討していくということにもなります。みんなも知っていると思うが、選挙権の年齢、成人の年齢が18歳に引き下げられたように、高校3年生で選挙の投票を体験する人もいます。今日は、1日本当に緊張してうまく言えたかな？とみんな不安に思っているかもしれませんが、再質問もあり、大変立派な質問だったと思います。我々も丁寧に調べて回答しています。こういった経験を通して、みんなも成長すると思います。1人1人の質問については我々がお話したところではありますが、この貴重な経験を生かして、さらにニセコ町について考えてもらいたいと思います。来年度も子ども議会があるので、後輩の議員になる人に助言などしてもらい、皆さん自身が大きく成長してもらえたらと期待しています。今日の子ども議会、議員のみなさまには感謝して講評とします。

##### (2) 閉会挨拶（片山町長）

今日は本当にありがとうございました。たくさんいい意見を頂いて、ぜひニセコのまちづくりに入れていきたいと思っています。このまちづくりに関しては子ども議会もそうだし、まちづくり委員会もあります。

赤ちゃんから子ども1人1人大切にし、みんなで尊重して認め合う、子どもの人権というものがありますが、世界人権宣言や子どもにやさしいまちづくりというのをユニセフや国連機関で話し合われています。日本も子どもたちの人権に配慮しようと子どもの権利条約を批准して動いています。

ニセコ町では、ニセコ町まちづくり基本条例を作っています。日本で一番最初に「私たちのまちの憲法」をみんなで124回くらい話し合って作ったものです。その中に子どもが

まちづくりに参加する権利をうたっていて、みんなそれぞれが気づいた意見をみんなの前で発言して、そのことで無視したり、発言したことでいじめにあったりしてはいけないということを条例の中でうたっています。

こういうこともやっているまちだということを感じてほしいなと思います。それから、環境モデル都市やSDGs未来都市として、景観や環境、水、地球環境を守ろうとして活動しています。これは、みんなが将来にわたって持続して平和に豊かに生きていけるための活動です。地球環境汚染についてニュースで見ると思うが、自分たちとは関係ないということではないです。水・森・CO2の抑制など、節水をするとか無駄をできるだけ減らして食糧もみんなで大変にして、支えあう社会をどうやってつくっていくかがSDGsというものです。みんなや学校にも配布しているが、こういった冊子も見てもらって、まちはこんなことやってるんだなということを感じて欲しいと思います。そして、町や日本を動かすのはみんな1人1人の行動・考え方で、それが私たちの社会を作っていきます。だから、気づいたことがあったらどんどん発言して欲しいし、いろんな意見にも認め合う寛容さ、優しさや思いやりが大切で、その数が多いほど社会が豊かになって楽しい人生を過ごせると思います。

相手を尊重して助け合う「相互扶助」の社会を、みんなで知恵を出し合って創っていきたいと思っています。子ども議会に参加してもらったことを感謝して閉会の挨拶とします。

### (3) 記念写真撮影